

# 聖徒の道



末日聖徒イエス・キリスト教会

# 目

# 次

## 聖徒の道

一九五七年八月号

### 「伝道部長メッセージ」

日本人のために結び給える聖約 . . . . .

. . . . . ポール O アンドラス伝道部長 . . . 一頁

### 「質問欄」

主自らバプテスマを施したまへり . . . . . 三

### 「ニュース欄」

新訳モルモン経に就て (一) . . . . . 四

帰米されたランドバーク長老 . . . . . 五

### 「伝道本部より」

(イ) 新宣教師来任 (ロ) 転任 (ハ) 任命

(ニ) 解任 (ホ) バプテスマ . . . . . 六

### 「福音のたより」 (各支部の報告)

岡町支部の集い . . . . . 七

山形支部のたより . . . . . 七

阿倍野支部から . . . . . 七頁  
東京北支部より . . . . . 八

### 「信仰と証詞」

心の清き者、神を見ん 小坂城子 . . . 九

努力・感謝 . . . . . 阪本弘・晴子 . . 九

「交わりより」 . . . . . 唐沢和子 . . . 十

韓国と沖縄の友へ . . . . . 高根節子 . . 十一

奇蹟的な恵み . . . . . 遠藤昭一 . . . 十二

編集言 . . . . . . . . . . 十二

大管長の言葉「祈りについて」 . . . . . 十三

### 表紙説明

アッセンブリーホールはソートレータ神殿敷

地内の南西部にある。その名の通り礼拝の場所であり、ステ  
「キ部の大会の会場として、又公的な事柄にも使用される。

# メッセー

日本人のために

結び給える聖約

ポール・C・アンドラス伝道部長

しかし、主が海の島々の上にあるものたちと結び  
たもうた聖約は、大きな聖約である。

(ニーフアイ第二書十章二十一節)

日本は島国でありますから、私達はこの聖句より、  
主が日本人のために大きな約束を作りましたもうていると  
いうことを知ることが出来ます。紀元前五七五年頃に  
著述に従事していた予言者ニーフアイは、次の様に宣  
言しています。

それで私が読んだことは肉体にも霊にも関係のあ  
ることである。それはイスラエルの家はおそかれは  
やかれ全地の面に散り、また万国の民と入り交るであろうと思わ  
れるからである。ごらん、もうすでにエルサレムにいる人たちに  
とってゆくえ知れずの者が多くある。まことに全支族の大半はす  
でによそへつれて行かれ、そして海の島々にここかしこ散り乱  
れている。私たちはかれらがつれて行ってしまわれたことだけは  
知っているがそれがどこにいるかは誰も知らない。

(ニーフアイ第一書二十二章三節一四節)

彼は、又、紀元前五三〇年頃、神は海の島々の上に立つ人たちは  
覚えてもうと述べております。

国民は一つより多くあるを知らずや。汝らの神にして主なるわ  
れが万人を造りしを知らずや。またわれが海の島々に住む者のこ

とを忘れざるを知らずや。またわれが上は天に於て支配し、下は  
地に於て支配し、わが言葉を世界万国の人々に示すことを知らざ  
るか。

(ニーフアイ第二書二十九章七節)

〇・・・あらゆる祝福に与るには・・・

私の考えではありませんが、この二つの聖句は、日本と沖縄とに適  
用される聖句であると思います。では、日本及び沖縄に対する神の  
大いなる約束はどのようにして成就され得るでありましょうか。あ  
る神の最大の祝福は、完全な組織と円滑な機能を有する組織団体を  
通して人々にもたされませんが、その他のえらびの祝福は、神の神殿  
に於て執行される儀式事業のみを通してもたらされます。日本及び  
沖縄に住む人たちが神の与え給うあらゆるすべての祝福に与り得る  
ために、先ず、神の教会が完全に組織され、円滑な機能を持ち、且  
つ又神殿も建造されねばなりません。こうした事柄を実現せしめる  
ための第一の必要条件は、神の教会の忠実な会員を数多く作るこ  
とであります。現在では、この日本の国に神の教会が完全に組織され、  
且つ神殿も建造される様にと、神は日本に義なる聖徒の団体を設立  
したもう御業に着手なさっております。

今日までの教会の発展状況を回顧してみますと、この伝道部は、  
他の伝道部と比較して、決して急速な発展を示してはいませんでした。  
事実、今までの日本に於ける忠実な会員の増加具合は、他の伝  
道部のそれに比較すると、全く、緩慢なものだったのです。一九〇  
一年八月にはじめて宣教師が来日し、一九二四年まで伝道致しまし  
たが、この二十三年間に百五十名足らずの会員しか誕生しませんでした。  
一九四八年に再び宣教師が日本に来り、その時より、忠実な



45  
12  
會員が着々とその数を増して来ました。そして、一九五六年末の統計によりますと、千二百十一名が會員として伝道部の記録上にのせられておりますが、その全部が忠実な會員でないのは誠に残念なことであります。

○・・・一万人の完全な會員を・・・

現在、日本に於て主の御業を遂行するために必要なものは、一万人の忠実な會員であります。これは、強い証詞と強い信仰をもち、支部で活潑に働き、支部の役員、宣教師、及び教会のすべての指導者たちを支持し、貞節を守り、清い生活を行い、安息日を守り、十誠に従い、自分の一と斷合費を払い、智慧の言葉をしつかり守る一万人というところであります。言葉を短くして云えば回復された福音の教えを実践している一万人の會員が必要なのであります。日本にこの如き會員が一万人出来る時に、いかばかりのたいなる祝福と喜びとがもたらされることであらうでしょうか。

しかし、現在日本には、一万人の忠実な會員が居りません。事実、神の誠命を実践し、教会の忠実な會員として考えられ得る程の會員は一千名を欠くのであります。では一万人に達するまでにどれ位待たなければならぬのでしょうか。

○・・・今年には五百人の改宗者を・・・

現状を見てみますと一万人の忠実な會員がこの伝道部に出来るのは間近いことがわかります。一九五六年には百四十一名の改宗者があり、これは、その改宗者数に於て四十五の伝道部中、第三十八番目でありました。しかしながら、一九五七年の前半六ヶ月間には、すでに二百二十五件のバプテスマが行われ、四十五の伝道部中、第

十七番目に位しています。これ程の急速な増加は、この伝道部にて先例のないことであります。事実、今までのバプテスマ数の最高は、一九五一年の二百十四件でありました。しかしながら、今年度の終りまでには、約五百件のバプテスマが行われると期待され、私自身、一九五八年度にはこれよりもっと多くの改宗者が誕生するであろうと信じております。すでにバプテスマを受けてこの教会に入会したある人たちは、すでに不活潑になってしまい、も早忠実な末日聖徒として数えられていないのは残念なことであります。私達は、これらの人たちの心に信仰を持たせ、再び教会にもどって来る様導かなければなりません。誠実に教会の教えに帰依し、それに喜んで従おうとする人たちにバプテスマを施す時には、常に細心の注意が払われています。私はこの教会に入ってくる大部分の人たちが、常に忠実な會員であり、近い中に一万人の會員がこの伝道部に出来るよう、心から希望しております。

主なる神は実在であって、この教会の上に立ちたまいます。そして日本の島々の上にある人たちと結びたまうた聖約は大きな聖約であって、その聖約を成就するために、完全に組織された教会と神殿とがなければならぬのです。又このために忠実に行う一万人の聖徒も必要であります。最近の発展によって、この伝道部には、一万人の忠実な會員がわすかの年間の中出来るであろうことが予想されています。

○・・・貴方は忠実な會員ですか・・・

その一万人の人たちは、どれ位幸いであり、又どれ程の祝福と喜びをもって暮らすとでありましょうか。しかし、貴方はどうでしょう

# 質問欄

主自らバプテスマを

施したまへり

「質問」

イエスはバプテスマを執行されたか。

「答」

この質問は、ヨハネ福音書の中にある言葉より引き出される質問である。第三章十二節に次の如く記録されている。「その後イエス、弟子たちとユダヤの地にゆき、其処にともに留りてバプテスマを施し給う」。又二十六節には「彼らヨハネの許に來りて言う『ラビ、視よ、汝とともにヨルダンのかなたにありし者、汝が証しせし者、バプテスマを施し、人みなその許に往くなり』」と書かれてある。

この言葉をよむと、イエスは御自身この折にバプテスマを執行さ

うか。貴方は忠実にやっている聖徒の一人ですか。又これからも、神殿の出来上るまで忠実に行う一人ですか。主イエスキリスト様が再降臨したもう時まで忠実に教えを守る一人ですか。貴方は、神様の聖約したもうた大きなみめぐみを受けられる一人ですか。これらの質問の答を、貴方がたは自分自身で決めることが出来ます。現在のこの伝道部の教会の会員が、みなこれらのすばらしい祝福を受けられるように私は心から祈っております。

アーメン。



れたといふことかかわれる。しかしながら、次の章の二節（三節をみると、イエスは御自身で決してバプテスマを執行されなかったといふ明白な言葉が見出される。「主おのれの弟子を造り、之にバプテスマを施すこと、ヨハネよりも多しとバリサイ人に聞えたるを知り給ひし時、（その実イエス自らバプテスマを施ししにあらず、その弟子たちなり）。ユダヤを去りてまたガリラヤに往き給う」。現存する原稿より翻訳された聖書の中には、イエスが現実にバプテスマを執行したもうたという記録された証拠がない。しかしながら予言者スミスによって翻訳された靈感訳聖書ヨハネ伝四章二節には、次の如く示されている。「さて、主はこのことを知しかど、己の弟子たち程に、多くの人にバプテスマを施さざりき」。この言葉はイエスの使命に関するわれわれの理解と一致するものである。イエスは弟子たちにバプテスマを与える権能をお与えになられ、又しばしはその儀式を指示したもうたことに疑いはない。しかし、イエスがバプテスマを施すこととお望である時には、自らそれを行う権能を持っておられたのである。先に引用した近代の啓示から、主イエスもバプテスマを執行したもうたということが知られる。

\*\*\*\*\*

今日、天父なる神の御心を行おう。そうすれば、明日の義務を果す準備が出来、又来るべき永遠の義務を遂行する備えが出来るのである。

ヒーバー J・グラント

悔改めは罪が深まるにつれ、より困難なものとなる。……悔改めの時期が延引されればされる程、悔改めの力はより弱まってくる。

ジェームス E・タルマツヂ

# ニュース欄

## 新訳モルモン経

に就て

佐藤 龍 猪

このたび新訳モルモン経が去る五月卅日に新装成って発行されましたが、その由来のごくあらましを前月号で申し上げました。これからひきつゞき新訳と旧訳とはどのようなところが變つており、どのようなところが訂正されたかを申し上げたいと思います。

口語体を撰んだいきさつ

第一は文体の問題であります。日本語にはくわしく言うと言語体、口語体、会話体の三つがあると思います。文語体は古文ならびに「なり」「べし」「さるべからず」などの語尾を特徴とする一つの系統であり、口語体は「である」「であろう」「ねばならない」などの語尾を特徴とする他の系統であり、会話体は「ねえ」「ですわ」などの語尾を特徴とするもう一つの系統であります。

聖典の言葉として会話体が不適當である

とは申すまでもありませんが、文語体であるか口語体であるかと言う問題は、旧新約聖書が世界各国でやさしい近代語に翻訳出版されている今でさえもなお議論されております。

私は最初に文語体を用いて読み易くまたわかり易い文章にできないものかと思ひ、ニーファイ第二書に進んだところ、文筆の方面では数十年の経験がある高木富五郎兄弟の親切な助言に従ひ、文語体をやめて口語体でやり直すことにしました。そして口語体をもって全巻を訳しましたが、その後口語体の旧新約聖書が出版されましたそれに対する各方面の意見など考え合せ、また後にジョセフ・フィールディング・スミス長老のお言葉も考えて、神の御言葉の部分を（イザヤの言葉を除き）ほとんどすべて文語で表わした文語口語を共に含む一種特別な文章にしました。これが新訳モルモン経の文章であります。

たとえばニーファイ第一書第二十二章九節  
またこの驚嘆すべき業は、異邦人にとつても、価値のあることである。これは異邦人のみならずまたイスラエルの家のすべてにとつても、価値のあることであつて「汝の子孫により世界の眷族ごとく」を

受くべし」と天の御父がアブラハムと結びたもうた誓約がこれではっきりと人に知られるのである。

およびニーファイ第三書第十一章九、十、十一節

「時にそのお方は手を伸して群衆に話しかけて仰せになった『見よ、われはイエス・キリストなり。予言者らがこの世に来ると証をしたるその者なり。われは世の光にしてまた世の生命なり。われは御父がわれに授けたまいしかの苦き杯をすでに飲み、世の人の罪をわが身に引き受けて御父の栄光を示したり。世の父の罪をわが身に引き受くることに於て、われは最初よりすべて御父のみこころに従へり』と」  
などがその例であります。

文脈または文章の組立方

第二は文脈もしくはある事がらを表現するに用いる文章の組立かたの問題であります。英語は言語学上独特な位置を占める言語であり、また一方日本語も独特な言語でありますから、英語から日本語に翻訳するには英語からドイツ語、フランス語、スペイン語などに翻訳するとは違い、言葉の置き換えを主とし

て行うことはできません。英語から日本語に

翻訳するには文法と言う道具を使ってまず英文を分解しその意味をつかみ、次に日本語に組立てる仕事でありますから、翻訳の立場のきめ方によってはすいぶんいろいろの違った表現をつかって、もとの英文の意味を表わすことが許されるはずであります。しかし今度の場合は旧訳モルモン経の文脈にできるだけ忠実に従って翻訳をいたしました。

たとえばニーファイ第一書第一章一節を比べると次の通りであります。

旧訳「我ニーフアイは善き両親より生れければ凡て我父の学問は多少教えられぬ。而して我は生涯許多の艱難を嘗めしかども、常に天主より厚き恩恵を蒙り、又神の恩恵と其奥義とを深く知れる故、自ら一生の中に為せし業を書き記さんとす」

新訳「私すなわちニーフアイは善い父母から生れたので、父の知っていたすべての学問の中からいくらかの教えを受けた。私は一生の中にこれまで多くの艱難に逢ったけれども、生涯主の厚い恵みを受けて、まことに神の恵みと神の奥義とを深く知っているから、私は今一生の中にしたことを記

録する」。(つづく)

## 数々の事蹟のこして

### ランドバーク長老帰米

伝道を終えた宣教師、あるいは日本に滞在してアメリカ本国に帰る事を一般に帰米又は帰国と云うが、宣教師にとってはしばしばこの言葉があてはまらぬ場合がある。日本人を心から愛し、その言語はもとより風俗習慣にいたるまで身につけてしまうと日本を離れる事は苦痛となり、まったくしるがみをひかれる思いで帰るのである。そしてアメリカに帰ってからは、日本を思い出し、ホームシックにかかってしまう。こうなると彼等には帰米というより、ランドバーク長老の送別会の時に伝道部長が云ったように、単に「アメリカに行く」といった方が適切なようである。

七月十三日、クリーヴランド号で帰国された宣教師達も帰米組ではなくて「アメリカに行く」グループであったが、中でも滞日三年八ヶ月のランドバーク長老はその筆頭にあげられよう。

ランドバーク長老は一九五三年十一月、二十一才の若さで日本に着任されたが、西部出

身の宣教師にまじってワシントン市の出身なので当初めづらしがられたものである。

最初三条に伝道、ついで日本語をまだよくマスターしないうちに室蘭支部長に栄転された。この時の生活は通常の宣教師生活最後のものであるが、彼には大きな経験の連続であったようである。

こんな事もあった。ある人と家庭集会をした。その人は宗教に反対する意見を三十分も彼の前のべた。その間彼は一生懸命ききみをたてたのであるが、一つも解らなかった。彼の学んだ程度の日本語ではその人の言葉はともむづかしく、理解出来なかったのである。所がどうだろう。彼はしやべれぬはづの日本語でその人の満足の行くような答をしたのである。のちに彼はこの事を実に「聖霊に導かれてはなせたのである」とあかしした。

ハロルド・B・リー長老出席の一九五四年九月の日光大会の直後、伝道部長の書記の任につかれたが、そのまま転任せず、翌年の十二月二十一日には伝道部長会の第二副伝道部長となり、一年半の間本部においてその大任を果されたのである。

彼はオニキ長老とアンドラス部長のよき顧問

として働いた。モルモン経の翻訳委員会の一員として、伝道本部の印刷機等の購入、事務局の建物の計画、その間に於て各地に旅行して宣教師の育成、大会に於ける管理者、そして特別の説教者としての彼の行動は我々に有意義な印象をのこされた。

かくて一九五七年六月、第一副伝道部長としての任につかれた。宣教師として最高の榮譽を受け、今年の七月、名譽ある解任を受けこの程アメリカに行かれたわけである。

我々は彼のこの地に於ける働きに心から感銘を覚えるものである。



## 伝道本部より

### (イ) 新宣教師来任

パール・テイラー (アイダホ州)  
デ・リーズ・キング (ユタ州)

### (ロ) 転任

| 氏名             | 旧任地   | 新任地   |
|----------------|-------|-------|
| ウィリアム トンプソン    | 東京中   | 東京北   |
| ニューエル イー キンボール | 京 城   | 京 城   |
| クロード W ニューマン   | 京 城   | 京 城   |
| デイーン M アンダーセン  | 釜 山   | 釜 山   |
| アルマ ハシモト       | 姉妹 札幌 | 姉妹 札幌 |
| クララ モア         | 姉妹 札幌 | 姉妹 札幌 |

### (ハ) 任命

新後閑 義雄 東京北支部支部長  
デイーン アンダーセン 京城支部支部長

### (ニ) 解任

| 氏名           | 職 位       |
|--------------|-----------|
| 木 暮 文        | 江 姉 妹     |
| ドン シー        | ランドバーグ 長老 |
| デビッド ボデリー    | 長老        |
| デビッド ブロードヘッド | 長老        |
| マリオン クック     | 長老        |
| ハワード モーフイット  | 長老        |
| ナイル ジェンセン    | 長老        |
| ヘレン フアング     | 姉妹        |
| ラバール ポキニ     | 姉妹        |
| 小 (ホ) バプテスマ  |           |
| 小林 ひろ子       | (札幌部)     |

|              |             |               |               |              |              |              |              |             |                |                |                |                |                |                |               |               |                |                 |               |
|--------------|-------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|
| 川崎 栄造 (室蘭支部) | 山田 武雄 (手支部) | みなと 美輝子 (本支部) | 久保田 房子 (松本支部) | 坂本 哲子 (松本支部) | 松本 宏子 (松本支部) | 中村 道子 (山形支部) | 河野 利行 (旭川支部) | 後 神 子 (浜支部) | 渡 辺 孝次 (東京中支部) | 木 口 芳江 (東京中支部) | 礪 推 辰子 (東京中支部) | 礪 推 正三 (東京中支部) | 礪 推 和子 (東京中支部) | 礪 推 三枝子 (京中支部) | 石 谷 忠三 (山形支部) | 雨 宮 きん (甲府支部) | 古 方 宗義 (名古屋支部) | 中 島 三重子 (名古屋支部) | 芳 賀 栄 (名古屋支部) |
|--------------|-------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|-----------------|---------------|

故にわれを信じてバプテスマを受くる者は誰にても救われるべし。かゝる者は神の王国に住むことを得る者なり。



# 福音のたより

各支部の報告

## 岡町支部の集い

- 一、ウエイタカ長老の同僚宣教師としてゴースラド長老来任 (六月十二日)
- 一、夜MIAの晩餐会開催、賞状賞品授与式有り、兄弟四名、姉妹三名、表彰後数々のタレント発表有り盛会、出席四十名 (二十二日)

- 一、河村雄弘君、其の母上河村妙子様、長野昌子様、初山じゅん子様、以上四名の兄弟姉妹芽出度く誕生せられた (廿三日)
- 一、野田姉妹の後任宣教師として仙台支部出身の佐々木姉妹をお迎えする。 (廿九日)
- 一、阪本晴子姉妹と松本弘兄弟との結婚式が午後一時よりグリーン長老に依り挙行 (廿九日)

- 一、田口、安井両兄弟、アロン神権の執事を受く

- 一、七月一日、午後七時より阪本兄弟姉妹の結婚祝福会を開催、岡町支部では最初の会員同志の結婚の事とて多勢の会員及び

求道者のお慶びを集めて必要なる新家庭用品をお祝いとして贈呈する

- 一、フウバー長老の同僚の宣教師としてダルトン長老来任せられた (十日)

- 一、十四日午後六時半より、ウエイタカ長老の御指導にて会員及び求道者の研究会を開催、今後も毎日曜日夜いつも此の会を続いて開催の予定、今夜は、イエスキリストの再降臨について、ジョセフ F スミス氏の「救の教義」のお話しを進められる事となる。 (阪本 幾代)

## 山形支部のたより

- 一、オズボン長老が帰米される事になりましたので六月八日午後六時半から宣教師宅にて送別会を開催致しました

- 一、鈴木他人伍郎兄弟のお子様の茂兄弟が誕生致しました。茂兄弟は八才の少年です。そして、鈴木一家は皆会員となりました。

山形支部唯一のモルモン家庭です。

- 一、廿九日には公民館で建設資金のために民謡と日本舞踊の会を開き盛会に終ることが出来ました。

- 一、立谷川の上流に於てバプテスマの式が行われ、中村美知子姉妹が誕生致しました。

## 阿倍野支部から

(草壁 園子)

支部大会報、MIA大会は六月十五日夜七時十分より山本兄弟の司会の下に始められた。三十一年度MIA表彰式は表彰状とバッジが未着の爲め二十二日に行われ安芸宏、筋田俊三両兄弟が晴れの表彰をうけた)変化に富んだ種々のゲームやタレントの発表があったが特に宣教師の珍家庭集会風景は逸品であった。最後に扶助協会有志の手によって作られたサンドイッチやスूप、アイスクリームに舌づつみをうち九時に会を閉じる出席者は三十名。

翌十六日は扶助協会、十時半より一般大会(大会テーマはアルマ書三十七章三十六節、三十七節)が開かれフーバ地方部長より永遠の儀式に対するよき注意と証の話をいたした。

午後一時より聖餐式、証会と続けられた。

出席数は三十九名、内会員は十八名

宣教師の移動、十ヶ月間当支部の宣教師として働いて下さった遠藤文方長老が十七日東京南支部に転任される事になったので十六日四時三十分より遠藤長老を囲んで、

語る会を催した。十七日、遠藤長老の後任宣教師としてノーマン長老来阪さる。同日夜九



時三十分、十五名の支部の人々の見送りをうけて遠藤長老は転任地の東京に発たる。

「フォークダンスの夕べ」支部教会建設資金を得る為、興国商業高校のホールにおいて当支部初めての試みとして「フォークダンスの夕べ」を開催したが七十名の参加者が恵まれた雰囲気の下で楽しい会をなすことができた。

扶助協会役員、長い間低迷状態を続けていた扶助協会もここに再度次の役員を選任し再起を目指している。(植村茂夫)

会長 田中重子

第一副会長 低山時子

第二副会長 寺西さくの

書記 林鈴子

(写真は支部大会記念撮影)

### 東京北支部より

一、北支部誕生の最初から全く寝食を忘れて努力され支部長クツク長老が七月十三日横浜から米国へ帰られました。クツク長老の在任中に北支部では映画会二回、バライター・ショウ一回、バザー二回、スキャキ会一回、と教会堂建築資金獲得のために活躍し、また支部資金追補のため毎月「たべよう会」を催して卒先努力されました。

七月九日夜は会員求道者三十余名集って惜別の会を開いて記念品を送ってクツク長老への感謝の意を表しました。この間六名の会員が誕生しています。

一、クツク長老の後任支部長は新後閑義雄長老で、同僚宣教師はトンプソン長老です。私達は若くして証しの強い新支部長を迎えたことを心から喜んでおります。

一、扶助協会が熱心に準備されたバザーは六月二十九日渋谷で開催されたが、米軍方面がペイデーの前日とあって豫期に達しないので七月六日第二回バザーを開いた。結果は相当の成績を上げて扶助協会一同喜色満面となりました。

一、日曜学校移転。日曜学校は従来スガヤ服装学院より左記へ移転致しました。

豊島区雑司谷七の一一一九

目白洋裁学園

(池袋駅と目白駅の間)

他の人のために生命を捨てるのが困難であるとするなら、われわれは何のためにこの世に生きていることになるのか。

ジョージ エリオット

# 信仰と証詞

## 心の清き者神を見ん

小坂城子 (室蘭)

私が教会へ入った初めに非常に興味ある、且つ不思議な言葉を聞きました。それは「奇しき業」と云う言葉でした。正直に云って、私は、この言葉の意味を最近迄深く理解出来ませんでした。しかし不思議に最近その意味を目の前に見ることが出来ました。確かにそれは奇しき業です。

今全世界にこの福音はのべ伝えられて居ります。そして多くの宣教師や兄弟姉妹は福音に對する証しを宣べて居ります。私は最近、この教会に多くの新しい人々が集って居ることを見、彼等の福音を聞く時の目、讚美歌を歌う心、更に直接彼等に会って受ける感じ、何かしら私を強くするものであります。その多くの人々は今、熱心に福音を研究して居ります。そして多くの宣教師も実に時間をこまかく伝道の為に使って居ります。私はそうした状態を見る時に、これこそ神が予言者

ジョセフ・スミスにの

べた所の「いと奇しき業」であると、思いました。心の清き人々がいかに多くこの福音に耳を傾け個人的に進歩し喜びを得て居るかを知った時、この福音こそ生命の種であり全人類が聞くべきものであり、悟るべき価値のあるものであると私自身強い確心を得ることが出来ました。まだまだ世の中には心の清き人々が居ります。その人々は現在福音によって生ける神を見出して居ります。

イエスがかって山上で「幸福なるかな心の清き人その人は神を見ん」と云った。あの暖かき御言葉の意味をしみじみ身に感じ私の心は今、感謝の気持で一杯です。マラキ、ダニエル、エリヤの予言者の言の如く、神の国が着々と建設されつつある現在の状態を見る時、私達末日聖徒だけではなく世の多くの人々は何か強い不思議な力を感じずには居ないでありましょう。伝道部長が前に大会でこの福音



が現在更に大きく、伝道されて居ること、これからも更に大きく伝道されるであろうと云った言葉を思い出し、私は、伝道部長の言葉は単なる彼の空想ではなく、確かに神の力を受けて居ると信じる事が出来ます。私は、神が生きて居らっしゃると知って居ります。そしてその生ける神が認め給う唯一真の教会が末日聖徒イエス・キリスト教会であると、私は知って居ります。

キリスト様は全人類の救主であります。この小さき、証しと全ての言葉を尊きイエスキリスト様の御名を通して・・・アーメン。

## 努力。感謝

阪本 弘

阪本 晴子

(岡町)

愛する兄弟姉妹、今私達は神の恵みの偉大さに驚嘆しつつ証を記しています。六月二十九日(土)グリーン長老(私を真の教会に導きし人)によって私達は岡町支部の教会で会員や求道者の心からの祝福を受けつつ結婚式をあげる事が出来ました。振り返って、私(弘)がこの誌上に証を寄せましたのは皆さんの御記憶にも真新しい四月でした。あの時前途に明るい希望を持続出来る確信はありましたが、

こんなに早く神の御やさしい御恵が頂けるとは思っていませんでした。家族全部が会員であるモルモン家庭の楽しさを時々刻々に味わっています、私に与えられている神権の力によって神の御意志に沿った家庭を作り上げて行く為に努力致します。

私（靖子）は母と二人で会員になって以来神の恵みを豊かに受けて参りまして只一つの事を除けば満ち足りた状態の連続でした。その只一つとは、それは「永遠の結婚」についての話題のある時に私は苦しみました。他の事なれば自分自身の心がけで実行出来ますが、これだけはそうは行きません、女の場合結婚して後相手を会員に導き入れると云う事は実に困難です。創世記を読む時「サラ」の信仰を思い出しては神に祈りました。神様は何とよく聞いて下さるのでしよう、只感謝で一杯です。会員としての私は神に従い夫に従い聖徒の道を神殿に向ってふみ違ふ事なく歩み続けて行くつもりです。そして其処で受ける儀式によって永遠まで進んで行きます。これ等の心からの感謝の証を総てイエスキリストの御名を通して御前に捧げます。アーメン。

## 「交わりより」

唐 沢 和 子 （松本）

証がどれ程強いものであるかを計る尺度は神のいましめにどれ程忠実であるかにある。

教会の帰りに、一人の家庭科の先生をして居る姉妹が言った。

「お茶が体のために悪いという証明がはっきりあるかしら、普通いつも飲む番茶が。」

私はこの事について前にもきかれた事があり、成分表を調べた事があったが、番茶の場合、ビタミンの含有量に比べて、他のものはあまりにも少く決定的な答を出すことは出来なかった。そこで、

「濃いお茶でなく、番茶については、あたしははっきりした証明はもっていないけど」と答えた。すると彼女は困った様な表情でいった。

「あたし、教室で生徒にその事を教えるでしよう。決して、番茶を飲んではいけませんなんて教えないのよ。ビタミンが含まれているものとして教えるのよ。ところがあたしは飲まないでしよう。だから、あたしのボーイフレンドは、そんなに良くないものなら何故生徒にそう教えないのだ。そしてもし確かな根

拠がなくてそうするなら、そんなのは実に形式的で良くないし、第一、他人に良い感じを与えないっていうのよ。だから、時々仕方がなくて智慧のことは破ってしまおうのよ」。

「あなたの立場はすい分むづかしいと思うわ。でも私だったら、ボーイフレンドにこういわ。私は神さまのいましめを守ってお茶を飲みません。科学が今それを証明するかしないか、私には問題じゃないんですって」。

「では教室ではどうするの。教科書にちゃんと書いてあるのよ」。

「勿論、教科書通りに教えるわ、そしてもし、何故先生はお茶を飲まないのですかってきかれたら、その時には智慧の言葉について説明すると思うわ」。

一八三五年にジョセフ、スミスは智慧の言葉の声明を発表した。その当時、彼の声明を支持する科学的な材料はほんのわずかしかなかった。百余年後の今日、科学は智慧の言葉が人間の健康に対して真理であることを証明した。番茶について未だ科学は飲んでならない決定的な答を与えては無い。しかし、科学が証明しなかった百年前の聖徒達は、智慧の言葉を守らなかっただろうか。いや、守った。



彼等は科学の証明を待たなかった。神の誠命を守るのに、それに対する解釈や、証明は要求しなかった。神様を愛する人々の前にある絶対服従は、自主のものであって、奴隷のそれとは全く違う。

\* \* \* \* \*

今年バプテスマを受けた二人の医学生の手紙には、神の誠命のどんな小さな部分にも忠実でありたいと努力する真のモルモンの姿が見られる。

「三十日、午後七時頃立川駅に降り立ちました。この日、前年のインターン生の送別コンパがありました。酒。すい分ひどいものでした。外へ出ていった人達のさん謗の言が聞えてきました。『あの信州からきたのは何だ……』」

彼は乾杯の時でも一滴もお酒を受けなかった。もう一人はこう書いてる。

「昨夜、医大微生物教室主催の一年生歓迎コンパがナンパの料亭でありました。始めにみんなビール乾杯がありましたが、僕は一滴も飲みませんでした。僕はビールが本当に好きでしたから辛いです。会場の途中から一人で帰りました。昔だったら僕が音頭をとって

みんなと一緒に愉快にさわぐのに、と思いがら心齋橋筋を歩きました。けど心はさわかでした。その日家を出るとき、コンパで無事に智恵の言葉を守ることが出来ず様にと祈って行ったのです」。

\* \* \* \* \*

私達が智恵の言葉に忠実であろうとすれば必らず習慣と戦い、それを打ち破らなければならない。その時の摩擦は私達に友達を永遠に失わせてしまうのだろうか。

智恵の言葉を忠実に実行しようとして払う努力と、同じ位の努力を、他の愛のいましめにも払う事が出来るなら、此の問題は殆んど解決がつく、実際にはそれが、どんなに実行したいものであるか私は良く知っているが、そう確信している。

さん謗の声をずっと黙って耐えていた兄弟の二ヶ月後の手紙にその事がはっきり解る。

「あなたの私についての想像、おどろくほどあたって居ります。でも、ここにこ毎日を通して居るわけではありません。相交らずどちらかというとしぶい顔。でも勿論友達と話もする。良く私を理解してくれる良い友達も居ります。」

その聖句が突きあげるように私の胸に蘇ってくる。

「幸福なるかな、義のために責められたる者、天は其の人のものなり」。

## 韓国と沖繩の友へ

高根 節子 (室蘭)

此の「聖徒の道」を通して、韓国、沖繩の活動状況を知る度に何か云い表す事の出来ない喜びを感じます。

私は長い間外地で生活致しました、その間多くの韓国の友を持って居りました。従って私の幼き頃の思出の中には、何時もそれらの人々の姿が想い浮かんで参ります。親切で交友的であった友……進学のためその地を去らなければならなかった時、涙を流して別れを惜んで下さった友、暫しの間文通によって交友は続いたが戦火がはげしくなり始めた頃から敗戦、引揚、とめまぐるしい時の流れに考える暇もありませんでした。而し、私が真の生きた神を知り、万人に福音がのべ伝えられる事を知った時から、何時かはきっと、あの友の上にも……と云う希望がありました。そしてこんなに早く、しかも同じ伝道部であると云う事は何と大きな恵でしょう。

自分達の母国に帰ったあの友たちも土著に成人し、新しい国家建設のために働いていらっしゃる事と思います。何時か、又もうすでに此の福音を受け入れて、私が考えている様な事を考えていらっしゃるかもしれない、再び此の福音によって結ばれる事が出来たらどんなにうれしいでしょう。

又同じ日本人でありながら国土を別にする沖縄の方達の上にも、此のすばらしい福音がのべ伝えられ熱心な求道者の方々が次々と浸礼を受けていらっしゃる事を知った。私のよろこびは大きいものです。確かに末日聖徒である私達の上に与えられた責任は大きなものであります。北部極東伝道部の伝道が成功致します様に、又私の幼友達の上にも神の導がありましよう心より祈りつつ……。

### 奇蹟的な恵み

遠藤 昭一 (山形)

私はゴリンデ長老が山形に神の使命により伝道にいらした時、求道者として教会に通いました。が其後、不幸にして悪魔に負けて信仰を持つ事が出来ず暗い世の荒波と共に過す事、早八年有余になり今度は病でたおれ本当に絶望してしまいました。ところが入院以来数々

月立つと私はいつか「末日聖徒」に心を引かれ、清生姉妹から長老へと話が進行して待望の福音を受ける機会が再度与えられました。まことに神の偉大さを心から悟る事が出来たのです。

私は主に病いを奇蹟的に癒し給えと、日々祈りました。しかるに偉大にも手術直前病果は半分以上も消滅し、主は私の祈りを実現させて下さいました。其れから日々の私の信仰は益々強く悪魔に負けない力強い信仰を身に付ける事が出来るようになりました。私は一日も早く神の子として生まれ、恥のない生活をと望んで居ます。

「ペテロ後書三章十四節」「ヨハネ第一の三章十六、十八、二十二節」に、

愛する者たちよもし心に責められるようなことがなければ、わたしたちは神に対して確信を持つことが出来る。とあります。実にすばらしい事です。これらの事を感謝し、主の御名によって申します。アーメン。



### 編集 言

◎本伝道部が最初の二十三年間の伝道では僅かに百五十名未満の改宗者があったに過ぎない。

◎それが戦後伝道部再開の結果一千名を突破したという。伝道部長の予言せられる通り、ちかく一万人に達することは疑いない。

◎それには会員各自が活潑な信者であり、完全な組織を持つよう努力することであります。

◎「聖徒の道」もようやく軌道にのって来ましたが、メ切日を厳守して予定の日に会員のお手許へ届くようにしたいと思います。みなさんの御協力を願います。支部報告が片寄っておるようです。各支部が競って投稿して下さい。

「聖徒の道」 一九五七年八月一日発行

発行人 ポール C アンドラス

編集人 高木 富五郎

発行所 東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエスキリスト教会

北部 極東 伝道部

# ていつに祈

私は地上の如何なる原則にもまして、主の御前に於ける祈りに、より大いなる信仰をもつてゐる。神に対する祈る信仰がなければ、われわれは神についても、又福音に關しても何ら深い理解がないということになる。われわれは、われわれに必要なものを得んため、主に祈りを捧げるべきである。たえず、人々の祈りの声を主の御許にとどかしめよう。そうすれば、主はそれらの祈りを避けることなく、むしろそれらを聞いたもうて、答えたまうであらう。又神の国、シオンは起ちて輝き、美しき衣をまとつて、神の榮光につままれ、地上に於ける目的を成就することであらう。

ウィルフオード ウッドラツフ

祈りと祈りの矛盾なきことに關し、(私の理解する限り)人の差し出し得る最も大いなる祈りの一つは、イスラエル人の長老が人々の前に立つて、良きをなすための考えを人々に告げ、彼らを真理と救いの原則の中で育成する時である。

この種の祈りは、イスラエルの長老のなす如何なる祈りとも同様に、主の御耳に好ましくひびくものである。何とならば、長老が人々の前に立つ時は、知識を伝えるという目的をもつて立つてゐるのであり、又自分の靈魂に真理を受け、神聖な原則によつて自らを教化し、進歩せしめ、且つより大いなる光明を受けることによつて、正義の中に育成せしめられるということを認めてゐるから

である。

ロレンゾ スノー

祈ることを学ぶのは決して難しいことではない。祈りを形ずくるものはわれわれの使う言葉ではない。祈りは決して言葉より成るものではないのである。真実、誠実、そして熱意のこもつた祈りは、主より祝福を得たいということと謙遜に主に願う心と、内的願望より生ずる感情の中に存するものである。われわれのねがいが真実であり、且つ主の御前に必要なるものを願ひ求めるため、へり下つた謙遜の心でひざまずくなら、われわれの祈りの言葉がどんなに簡単なものであつても決して問題ではない。

ジョセフ F スミス

私は、御靈の導きのあるよう一日に二度、主に心から祈る少年、少女又は若い青年男女に対し、殆んど又は全く心配するところはないと思つてゐる。誘惑が来ても、彼らは与えられた靈感によつて、それを克服する力をもつてゐると私は信じてゐるのである。御靈の導きを得る様主に願ひ求めることそれ自体は、われわれを守るものとなり、主の御靈の導きを熱心に、且つ正直に求めるなら、われわれは必ずその御靈を受けるであらうと私は確信してゐる。

ヒーパー J グランド



# 末日聖徒イエス・キリスト教会信仰簡条

(1956年8月校訂、)

- 第 1 条 われらは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと聖霊
- 第 2 条 われらは、人は皆各々其身にてなしたる罪に対して罰を受け、咎に対して罰を受けざることを信ず。
- 第 3 条 われらは、キリストの贖罪により、すべての人類は、福音の式とを守ることにによりて救われ得ると信ず。
- 第 4 条 われらは、福音の第一原則と儀式とは  
第 1、主イエス・キリストを信ずる信仰  
第 2、悔改め  
第 3、罪の赦しを受くるために水に沈めらるるバプテスマ  
第 4、聖霊の賜を授かるための按手礼  
なることを信ず。
- 第 5 条 われらは、福音を宣べ、且つその儀式を執り行うためには、啓示ある者の按手により、神によりて其任に召されねばならぬ。
- 第 6 条 われらは、教会には、初期の教会に在りたと同一の組織、すなわち、預言者、監督、教師、祝福師等のあるべきことを信ず。
- 第 7 条 われらは、異言を語る力、予言する力、啓示、示現を受くる力、すなわち、異言を訳く力等の賜あることを信ず。
- 第 8 条 われらは、正確に翻訳せられたる限り、聖書は神の御言葉なりと信ず。またモルモン経も神の御言葉なりと信ず。
- 第 9 条 われらは、すべて神のこれまでに啓示したまいしこと、すべて今後とも信じ、なお今より後、神の王国について多くの偉大な啓示を受けることを啓示したもうことを信ず。
- 第 10 条 われらは、イスラエル人は、文字通りに四方より集合し、その十支族の地に立ちかえることを信ず。われらは、シオンはこの（アメリカ）の地に建てられ、キリストは御自ら地上に王となりて治めたまい、地球にあらたまりて楽園の栄えを受くることを信ず。
- 第 11 条 われらは、自らの良心に従い、全能なる神を礼拝する特権ありと主張す。また、われらは、すべての人々にこの特権を許し、何所なりとも、如何様なりとも、または何なりともこれを礼拝することを妨げず。
- 第 12 条 われらは、王、大統領、統治者、長官に従うべきを信じ、また法律を敬い、守り、支うべきを信ず。
- 第 13 条 われらは、正直、真実、貞潔、慈善、高德なるべきこと、およびすべての人に善を行うべきことを信ず。またここにパウロの訓戒に従うというを得べく、われらはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。すでに多くのことを堪え忍びたれば、あらゆることを堪え忍び得んことを望む。もし何にても、徳高きこと、好ましきこと、よき聞えあること、あるいは褒むべきことあらば、われらはこれらをたずねもとむるものなり。

ジョセフ・スミス